

平成24年度第1回宮崎県私立学校審議会議事概要

1 日時

平成24年7月6日（金） 午前10時から

2 場所

県庁特別室（県庁本館3階）
宮崎市橘通東2丁目10番1号

3 出席委員（11名）

田中会長、井上委員、齊藤委員、丸山委員、永友委員、坂本委員、
添田委員、佐藤委員、森迫委員、川越委員、常盤委員

4 議題

諮問第1号 聖心ウルスラ学園高等学校の学科の設置及び収容定員に係る
学則の変更について

5 内容

(1) 新設学科の名称、定員及び設置理由

看護科・看護専攻科（定員：1学年 40名）

県北地域の医療の向上と安定化に寄与するため、看護科及び看護専攻科を設置し、5年制一貫看護師養成教育を行うことにより真に社会貢献のできる質の高い看護師を育成する。

(2) 収容定員の変更

① 看護科設置に伴う定員の変更

・普通科	240名	→	200名	（総定員720名 → 600名）
・看護科	新設	→	40名	（総定員 新設 → 120名）
（合計）	240名	→	240名	（総定員720名 → 720名）

※ 総定員は平成27年度の定員を記載

② 看護専攻科の設置に伴う定員増

・看護専攻科	新設	→	40名	（総定員 新設 → 80名）
（合計）	新設	→	40名	（総定員 新設 → 80名）

※ 総定員は平成29年度の定員を記載

6 主な質疑等

- ・看護科の設置に当たり一番問題なのは実習であるが、実習施設はあるのか。
→ 病院から必要な実習受入の意向は示されている。
- ・定員について、指導はしているのか。
→ 聖心ウルスラ学園が行った県北の中学生へのアンケート調査等を踏まえると40名の定員の確保は可能と考える。
- ・専攻科や女子寮の整備計画はどのようになっているか。
→ 専攻科については、短期大学跡を利用し、今年の8月末から建物の改修を行うと聞いている。女子寮については、なるべく早い時期に計画を立てて、短期大学跡の敷地内に建築すると聞いている。
- ・教職員について、授業はどのように対応するのか。
→ 新たに助教諭3名を採用して対応する。
なお、講師については順次雇っていくので、文部科学省への指定申請の際には、予定者の承諾を得た上で、具体的な氏名を記載して申請をすることとなっている。

7 審議結果

適当と認める。